



# うと市議会だより

編集／議会だより編集委員会

発行／宇土市議会 平成23年8月15日発行

宇土市浦田町51番地

TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313

<http://www.city.uto.kumamoto.jp>



## 宇土市子ども議会

「市政を問う！」 市内小・中学校代表の子ども議員が鋭い質問を行いました。（記事は裏表紙）

### CONTENTS

- P2 平成23年第2回定例会（議案の主なもの）
- P3 一般会計補正予算
- P3 市議会議員表彰
- P4～14 一般質問（11人登壇）
- P15～16 委員会報告
- P17 平成23年第2回定例会上程議案議決結果及び報告一覧
- P17 請願・陳情議決結果
- P18 編集後記



# 平成23年 第2回定例会

第2回定例会を6月17日から7月4日まで、18日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、平成23年度一般会計補正予算など予算関係2件、宇土市下水道条例の一部改正など条例関係5件、公平委員会委員の推薦の人事案件3件、専決処分の報告及び承認5件、宇土市道路線の認定などその他6件、議員提出議案として公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

また、宇土市農業委員会委員の議会推薦および宇城広域連合議会議員の選挙が行われました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、各常任委員会での審査内容は、15、16ページに記載しています。

## 専決処分

### ◆宇土市国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の一部改正に伴い暫定的に引き上げた出産育児一時金の給付額（39万円）を平成23年4月以降も継続するもの。

・施行日 平成23年4月1日

### ◆宇土市国民健康保険税条例の一部改正

正

地方税法施行令の一部が改正されたことを受け、国民健康保険税の基礎課税限度額を50万円から51万円に、後期高齢者支援助金等課税限度額を13万円から14万円に、介護納付金課税限度額を10万円から12万円に引き上げたもの。

・施行日 平成23年4月1日

## 条例

### ◆宇土市健康づくり推進協議会設置条例の制定

健康づくりの集いの開催等に関する協議等を行い、市民の健康の増進を図るため宇土市健康づくり推進協議会を設置するもの。

・施行日 公布の日

### 【主な規定内容】

・所掌事務 健康づくりの集いの開催、家庭健康教室等の開催に関すること等を協議

・委員 15人以内、任期2年



### ◆宇土市下水道条例の一部改正

九州新幹線総合車両基地から排出される汚水処理費の算定に要する使用料を定めるもの。

・施行日 公布の日

### 【主な改正内容】

当該基地の排出量を考慮し、汚水（水道水及び水道水以外の水とともに）2,500m<sup>3</sup>を超える部分の料金を1m<sup>3</sup>につき250円とするもので、宇土市内の事業所については減免措置により従来どおりとする。

### ◆宇土市歴史的資料保存活用事業運営委員会設置条例の制定

市民、専門家の意見を求めるため、宇土市歴史的資料保存活用事業運営委員会を設置するもの。

・施行日 公布の日

### 【主な規定内容】

・所掌事務 歴史的資料の収集等及び

文書館の設置に関する審議・答申  
・委員 8人以内、任期2年

## 予算

### ◆平成23年度宇土市水道事業会計補正予算（第1号）

歳出を450万円増額し、総額を1億1,048万2千円とする。内容は、松山町の県道川尻宇土線改良工事に伴う配水管布設替え工事のため増額補正。

## 人事

### ◆公平委員会委員の推薦について

那須 宅巳（再任）  
大橋 和義（再任）  
石田 紀代子（再任）

### ◆農業委員会委員（議会推薦）

（任期3年・敬称略）  
松本 実穂（J・A熊本宇城 宇土地区女性部長）  
山村 保夫（市議会議員）  
杉本 信一（市議会議員）  
岩本 廣海（市議会議員）

### ◆宇城広域連合議会議員

（敬称略）  
浜口 多美雄

## ◆平成23年度宇土市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ1億8,695万8千円を増額し、総額を137億3,695万8千円とする。

費目 (歳出概要)	予算額 (千円)	歳出の主なもの ( )内は補正額【単位：千円】
総務費	104,115	東日本大震災災害見舞金 (6,000), 庁舎建設基金積立金 (89,669)
民生費	3,338	家庭児童相談員設置費 (1,173), 母子家庭高等職業訓練促進費 (2,165)
衛生費	784	家庭用給排水施設等整備事業補助金 (206)
農林水産業費	52,605	農地・水保全管理支払向上活動支援交付金 (14,555), 戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業 (38,050)
商工費	1,188	宇土地蔵まつり実行委員会補助金 (1,000)
教育費	24,928	給食センター施設管理費 (8,085)

## 市議会議員表彰

第2回市議会定例会開会日冒頭に本会議場で、表彰状の伝達が行われました。これは、東京の日比谷公会堂で6月15日に開催されました第87回全国市議会議長会定期総会の席上において、全国市議会議長会会長から中山新之助前議員、福田慧一議員が市議会議員として在職20年の表彰状を授与されたものです。







可能性を秘めた宇土駅東側

## 開発誘致策と公共駐車場確保で活性化策を提案



(愛市同友会)  
九谷新吾 議員

### 宇土駅東側の開発誘致策について

**九谷議員** 企業誘致の現状について。

**下田経済部長** 各々の企業が、独自の開発計画を進めていると聞いているが、景気回復の遅れもあり、決め手となる戦略が立てにくい状況である。4月から土地開発公社等が所有する用地や誘致企業に対する優遇制度を掲載した企業立地ガイドを作成し、様々な場で紹介している。今後企業誘致アドバイザーと共に積極的な情報収集及び情報発信に努め、企業誘致に取り組んでいく。

**九谷議員** 旧国道3号線上り宇土シティモール前と国道57号線上り陸橋からの慢性的渋滞が、今後の周辺開発や企業誘致のマイナスイメージにならないよう、道路拡幅等で渋滞解消策を講じるなど環境整備を図るべきではないか。

**新樹建設部長** 将来においても、水町から宇土駅東口一帯の開発等により、更に渋滞が予想され、国土交通省及び、熊本県に渋滞緩和に向け要望活動を行っている。

**九谷議員** 宇土駅東側開発について行政は、個々の企業との接触や企業側の開発での整備に頼るのではなく、地権者の企業が密な情報交換と連携を図る機会を設け、より効果的な大型商業集積や定住促進を図るため、駅東側企業地権者参加のまちづくり懇談会等を設置すべきではないか。

**元松市長** 議員提案の通り、より有効で効果的な開発に向け、先に設置している宇土駅東地区まちづくり委員会を充実させていく。

### 宇土市内公共駐車場確保で経済活性化策について

**九谷議員** 市運動公園及び市民会館では、駐車場が不足するという声をよく聞く。各種大会・イベント開催での駐車場確保と市運動公園・市民会館駐車場の現状について。

**益田総務企画部長** 既存の駐車場が不足する分は近隣の皆様のご協力をいただき臨時駐車場を設ける等して対応している。

**九谷議員** 駐車場不足で各種大会・イベント等の招致に支障を来している。経済活性化策として市中心部に近い運動公園周辺に新たな公共駐車場確保が急務ではないか。また、災害時多目的に活用できると思われる。

**元松市長** 現状としては、施設ごとの駐車場の容量が少なく、イベント等が重なるときは相互に補完してやりくりしている。九谷議員の指摘のとおり、新たな駐車場を確保することで他の用途として災害時の対応にも活用できる点もあり、大きなイベント等の誘致で経済効果が期待できるが、財政負担の問題も絡み、今ある近隣駐車場の相互利用の方法を工夫し、利用者の利便性向上とイベント等の誘致に結び付けていく。



完成した網津小学校新校舎

## 新校舎を活かして経済活性化を

宇土東小学校周辺(松原区・築籠区)における道路及び河川の改修・整備について



(無所属)  
中口俊宏 議員

**中口議員** 東小学校通学路の一部は未舗装であり、雨天の際、道路に水溜りが出来、児童は水溜りの中を登下校している現状である。近くには、ケアプラザ宇土があり、入所者の方は車椅子で活動されている。周辺道路の一部には、段差や凹凸状態があり、車輪が乗り上げ、バランスを失い転倒の危険も危惧されている。一方大坪川は、大雨と満潮が重なると増水し、地域一体が冠水するため、整備は地域の重要な課題である。東小学校周辺の道路及び河川は早急に整備が必要ではないか。

**新樹建設部長** 道路は、必要性の高い順に整備を進めている。

松原、築籠区は、袋内団地入口からケアプラザ宇土付近まで。又東小学校周辺の通学路を整備する予定である。大坪川は護岸1、190m、樋門一基を整備する。昨年度は、大坪川橋下流へ両岸543m、船場川合流地点より上流50m付近から上流へ左岸を76m整備済みである。本年度は、その上流左岸約300mを整備予定である。樋門は、関係者と協議して進める。

**中口議員** 袋内団地及び東小学校への大型消防自動車、大型バスが容易に進行できない状態であり、これらの解消及び地域の活性化のために東小学校北側に道路新設はできないか。

**元松市長** 大型消防自動車袋内団地へ進行する際、周辺道路の幅員が狭く厳しい状況であり、同様に東小学校へ大型バスの乗り入れも厳しい状況であることは認識している。そこで、住民

校舎改築視察に伴う経済活性化対策について

の安心・安全を確保するため、既存の道路改良拡幅、又東小学校北側の新設道路についても有効な土地利用も含めて検討する。

**中口議員** 網津小学校、宇土小学校は、改築後に全国から視察が予想される。受入れにあたって宇土市が経済的に潤うために、食事、宿泊等の条件及び要望をすべきではないか。

**山本教育部長** 網津小学校、宇土小学校ともに多くの視察が予想される。学校教育課が窓口となり、学校及び担当課等と連携し、弁当や宿泊、観光等、地域活性化も視野に入れた受け入れ態勢を整えていく必要があると考えている。

**元松市長** 視察受け入れにあたって、一定の条件を検討している。それは、視察の際、昼食は市内の飲食店等を利用する。又は弁当を購入する。宿泊は市内の旅館等を利用するなど。弁当は、宇土市の観光、地産資源を活用した新しい弁当の開発を検討している。



芝生化された校庭

## 地域の協力を得るための取り組みとは

### 教育環境について



(無所属)

平江光輝 議員

たくましく心豊かな子どもたちの育成を図っていくため、芝生化を推進したい。

**平江議員** 長期にわたり成功するための方向性は。

**平江議員** 校庭芝生化整備事業について本年度の取り組みは。  
**山本教育部長** 学校校庭の芝生化については、今年度から、走湯小学校をモデル校として取り組んでまいりたいと考えている。今年度は、グラウンドが芝生に適しているかどうか、また、維持管理面での手間を検証するため、教育委員会主導で試行的に実施することとし、既に、5月末にグラウンド北側に植え付けを完了している。今後は課題を洗い出し、地域の皆様と意見交換をさせていただきたいと考えている。

**平江議員** 校庭芝生化を推進する理由は。

**山本教育部長** 近年、地球規模の環境問題が世界共通の課題と

して提起されている。そのような中、学校校庭の芝生化は、子どもたちに教育面・健康面・環境面で様々な効果が期待できると言われている。文部科学省は、芝生化には、芝生の弾力性がスポーツ活動に安全性をもたらすこと、環境教育の生きた教材として活用できること、強風時における砂ほこりの飛散防止、降雨時における土砂の流出防止、そして夏季における照り返しや気温上昇の抑制などの効果があるとして推進している。本市でも教育立市プランの中で、より快適な教育環境づくりのため、エコスクールの取り組みを進めている。この位置づけのもと、緑豊かな教育環境を整備することにより、子どもたちの緑化意識を育み、環境学習の場となる環境に配慮した学校施設を目指すとともに、次代を担う子どもたちの運動・体力不足を解消し、

**山本教育部長** 芝生化を推進するにあたっては、先ず、学校・PTA・地域住民等のご理解を得る必要がある。それと併せ、維持管理体制の構築ができるかどうか芝生化の成否のカギになる。因みに「鳥取方式」を採用している境港市の先進事例では、芝刈り、水やり、施肥などを学校と地域が行うという体制が構築されている。このように、芝生の維持管理をして頂ける体制が出来ることが、この事業では、最も重要であると考えている。教育委員会としては、今後、維持管理体制の構築ができるよう、準備すべきことを検討するとともに、芝生化に対し、PTAや地域住民の皆様にご理解とご協力をお願いしてまいりたいと考えている。

(老人クラブ、高齢者福祉政策、地域・家庭教育についても質問した)





大雨により氾濫する網津川

## 今後の河川・海の課題について

### 網津川改修促進について



**嶋本議員** 県管理河川の網津川

は、毎年梅雨時期になると冠水・越水等により、生活道路が遮断され、避難さえままならぬ状況となっている。現在、網津川改修が停滞していると思われるが、なぜか。

**新樹建設部長** 国道57号、J R 三角線はもとより住吉駅舎についても改修が必要となり、以前から検討されているが、多額の事業費が必要で、工法等について結論が出ていない。

**嶋本議員** 今後、網津川の改修方針はどうなっているのか。

**新樹建設部長** 上流部においては護岸の整備又、J R 橋梁部から網津小学校付近までは、護岸の嵩上げが計画されている。その他、必要に応じて河床掘削も考慮されている。

(無所属)

嶋本主人 議員

### 漁業の振興について

**嶋本議員** アサリ漁の最盛期

だった昭和59年頃の漁獲量と比較すると、最近5年間で一番採れた平成17年でも、約80%減少している。原因は何か。また、行政として漁場回復計画はないのか。

**下田経済部長** アサリ漁獲量の減少理由は潮の流れの変化、流入する水の汚れ、泥分質の堆積等の条件が重なっており、原因は特定できない。市では、地元の各漁協からの要望に対して、母貝散布や覆砂事業への補助金交付を行っている。

**嶋本議員** 住吉や網田地区の漁港は、有明海特有の干満差のため、干潮時には出港できない状況。ましてや近年、緑川からの土砂等の堆積により漁港としての機能が十分満たされていない。対策はないか。

**下田経済部長** 平成16年の法改正により、浚渫土砂の排出、処分が難しくなり、港の浚渫ができない状況だった。現在、浚渫土砂を海洋投棄ではなく、アサリ漁場造成のため覆砂を行うというところで、海上保安部と協議を重ねている。

### スポーツ振興について

**嶋本議員** スポーツに関わる方々のため助成金の増額はできないか。

**山本教育部長** 市では、補助金として、九州、西日本大会は1人五千円。全国大会は1人1万円。日本代表、日本選抜として出場する国際大会は1人3万円を支給している。現状でも、近隣市町以上に補助ができていないかと考えている。

**嶋本議員** 今後のスポーツの普及のため、宇土市のスポーツ施設の使用料金を宇土市民の方や市内に職場がある企業が利用する場合、免除などの措置はできないのか。

**山本教育部長** 条例により、市主催行事、市内小中学校の教育課程、市内の身体障がい者の利用等については、減免を行っている。体育施設の維持管理には多額の費用がかかるため、受益者負担として使用料負担はお願いしたい。



ウキウキロード、松橋バイパス沿いの農地

## 人口増加の受け皿となる計画的な土地利用を

### 土地利用計画について



(無所属)  
柴田正樹 議員

### 総合計画に明記してある商業振興について

**柴田議員** 第5次総合計画の中で、宇土市東部の土地利用についての記述があるが、市として東部地域である花園地区の土地利用はどう考えているか。

**柴田議員** 経営基盤の強化、起業家に対する支援、後継者の育成、空き店舗の解消、今後これらに対する取り組みは。

**新樹建設部長** 定住促進に向けて、都市計画マスタープランの位置付けに沿った、宇土東地区の郊外居住地としての魅力を高めていく政策を推進していく。

**元松市長** 「みんなが豊か！活気あふれるまちづくり」を目指し、商店経営の強化、中心市街地の活性化を個別政策として、経営力の強化、空き店舗対策、起業家支援などの各種事業の展開に努めている。今後、地元事業者や商工会、関係機関と連携した各種事業を展開していくことが必要であり重要であると考えている。

**元松市長** 都市計画マスタープランや今後見直し予定の農業振興地域整備計画と調整を図りながら土地利用計画を進めていく。

### ミニポートピア進出計画について

**柴田議員** ミニポートピア進出計画の現在の進捗状況、地元住民の意見、進出による経済波及

効果の予測などはどのようなになっているか。

**益田総務企画部長** 現在の進捗状況については、今年の2月以降の進展はない。地元住民の声として、早期開業を望む声と一部反対の意見も届いている。経済波及効果としては、雇用面、地域経済、環境整備協力金の3つの効果が考えられ、仮定を含めた概算として、年間1億3、000万円が見込まれる。

### 今後電力不足が生じた場合の市の対応について

**柴田議員** 電力不足が生じた場合、市としての対策は。

**中村市民環境部長** 6月8日に「宇土市庁舎節電対策会議」を開催し、節電対策としては毎年実施している5項目に加えて、今年度は新たに5項目を追加し、更なる節電に取り組んでいる。市民に対しては、緑のカーテンづくりを推進してきた。今後、「広報うと」環境シリーズの中で、「家庭で簡単にできる節電対策」を掲載して、家庭での節電に対する啓発を行うこととしている。





個別に作られているハザードマップと防災マップ

## ハザードマップ、防災マップの見直し、統合を

### 防災対策について



(公明党)

芥川幸子 議員

**芥川議員** 罹災証明書の発行や支援金・義援金の交付等、災害時の危機管理に役立つ「被災者支援システム」を導入・運用してはどうか。

**元松市長** 大規模災害が発生した場合、被災者支援を迅速かつ的確に行っていくけるよう導入を検討していきたい。

**芥川議員** 現在ある防災マップやハザードマップを見直し、1冊に統合できないか。食糧及び防災機材などの備蓄防災倉庫はあるのか。

**中村市民環境部長** 今後震度5弱以上の大津波も想定し見直す必要があると考える。使いやすいうように1冊に統合したものを作れるよう協議していく。現在本市には、防災倉庫はない。今後、備蓄を検討し、市内の食品業者や店舗との災害時支援協定を推進していく。

**芥川議員** 小・中学校における「防災教育」について

**山本教育部長** 津波を想定した避難場所・避難経路を決定している学校は3割にとどまり、残りには検討中で、今後現状を踏まえ、防災教育の推進を図っていきたいと考える。

**芥川議員** 小・中学校、幼稚園、保育園における窓ガラスの飛散防止対策について

**山本教育部長** 窓ガラスの飛散防止対策等、学校施設等の点検整備を計画的に進めていく必要があると考える。

**芥川議員** 災害時要援護者の避難支援対策について。福祉避難所の開設基準はあるのか。避難訓練を行う予定はあるか。

**中田健康福祉部長** 平時から災害に備えて訓練を行い、地域で避難支援体制の整備、充実に図っていきたい。福祉避難所においては、必要に応じて開設していきたい。

### 情報バリアフリーの推進について

**芥川議員** 視覚障がい者の福祉の増進として、携帯電話を使って音声コードを読み取ることが出来る「音声コード読み上げ補助アダプタ」を、日常生活用具の給付対象にして欲しい。

**中田健康福祉部長** その装置を、障がい者の方々が、利用できるように取り入れたい。

**芥川議員** 高齢者や障がい者に配慮したホームページに、音声読み上げの機能の導入を。

**益田総務企画部長** 検討を行い、情報のバリアフリー化をこれまで以上に推進していく。

**芥川議員** 障がい者の交通安全のため、音の出る信号機を設置してはどうか。

**中村市民環境部長** 交通安全の推進を図るためにも、関係機関へ要望していく。

### 環境対策について

**芥川議員** 使用済みインクカートリッジの回収について。

**中村市民環境部長** インクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加する方向で検討する。



宇土市本町通りを通る大型貨物自動車

## 美しい地球と未来を子どもたちに

### 宇土市本町通りの大型貨物車の通行規制について



(無所属)

藤井慶峰 議員

**藤井議員** 宇土市本町通りの大型貨物自動車の通行規制はどうなっているのか。

**中村市民環境部長** 大型貨物車(8t以上)の通行規制を県土木事務所や宇城警察署に要望、協議してきた。県との協議では、基本的に道路構造上の問題がなければ規制は難しいとのこと。宇城署との協議の結果、大型車の迂回路や市としての交通網の計画案を示して欲しいということであり、規制する場合は、通常大型車の規制となる。市として検討会議を開催し、課題や問題点を踏まえ、交通網の整備を検討し、県や宇城警察署と再度協議していく。

**藤井議員** 「経済面」を考えた場合でも大型貨物車が市民に恐怖感を与え、路面を傷つけ、或

いは交通事故を起こして事故処理や補償問題に費やす時間と心労などを考えても通行規制する方が遥かに大切だと考える。商店街の活性化という観点からも、買い物が入り易い交通環境を創らなければ買い物客が本町通りを避ける事になる。通行規制できるように交渉を進めていただきたい。

### 小中学校の避難計画について

**藤井議員** 全校児童の七割が死亡した宮城県の大川小学校では事前に避難場所を指定していなかった。避難計画、避難指示の拙さによる人災としか言いようがない。本市の小中学校の防災計画、避難計画は大丈夫なのか。

**山本教育部長** 改めて本市においても普段からの防災計画の重要性を思い知らされている。本市でも全ての小中学校で防災計画が作成されており、火災、地

### 災害時に於ける市民の避難計画について

震による避難場所・避難経路は明記され、避難計画も作成されている。学校安全年間計画を位置づけ、計画的な安全教育を行っている。しかし、津波訓練については一部を除き、実施していないのが現状だ。早急に児童生徒の安心安全な防災計画・避難計画の再確認や見直し等を図り災害時に備えて行きたい。

**藤井議員** 寛政の大津波は14・9mまで来た。津波対策も実施していただきたい。

**藤井議員** 本市の防災計画、避難計画見直しの中で安全が確保できるのか。

**中村市民環境部長** 東日本震災を教訓に県が検討委員会を設置し最終案をまとめるので可能な限り来年度以降の防災計画に反映させたい。避難場所には、五百人以上収容できる宇土高校体育館を加えた。今年度は、避難場所に標高を掲載し、できるだけ高い所に移動することを明示、避難場所を分かり易くする。市民が安心して避難できるように全域を検証していく。



〈東日本大震災〉宮城県南三陸町防災センター

## 地域防災、持続可能社会、市民参加の政治

### 地域防災と安全保障



**野口議員** 東北の被災地を視察して、自主防災が重要と思った。宇土市の現状と取り組みについて報告を。

**中村市民環境部長** 大災害時に地域住民が相互に助け合い人命救助や初期消火に努めることは、被害軽減の役割を果たす。自主防災組織率100%を目ざし啓発育成に努める。

**野口議員** 津波被災地を検証して、支所や公民館が大事と想った。網津川氾濫時の網津支所・網津公民館の危険度と機能不全についての対策はどんな検討をしているか。

**中村市民環境部長** 河川の氾濫が予想される場合には、事前地域住民や消防団等により土の

(無所属)

野口修一 議員

う積み等行い、越水防止や支所入口に堰板など防御している。今後は、洪水を想定しより安全性が保たれる施策を関係課と協議し総合的に検討する。

### 持続可能社会に必要な発展産業について

**野口議員** 東北の震災以来、日本社会を大きく変えるうねりが起こっている。地方独自の産業育成が必要と思うがその認識はあるか。

**下田経済部長** 必要な産業としては、高度情報関連産業と再生可能エネルギー産業と認識している。宇土市も、両分野に目を向けなければならないと思っっている。また持続可能社会の実現に、女性の果たす役割が注目されている。特に農山漁村の女性起業家による、地域に根ざした

活動がこれから重要である。

### 市民参加の政治

**野口議員** 昭和41年から福岡県が取り組む「まちの政治をみつめよう学級」のような市政学習会の認識と、実施計画はあるか。

**中能選挙管理委員会事務局長** 今後、明るい選挙推進協議会を中心とした研修会の開催や、福岡県で実施されている事例などを参考に、出前講座のメニューとして調査研究を進めたい。

**野口議員** 地方自治は、市民参加から市民参画、行政サービスの民間委託が進む中、私は小さな地方政府(市役所)、小さな議会、地域内分権が必要と考えている。今後の市政への市民参画の考え方をお尋ねしたい。

**元松市長** 市政に市民の意見を積極的に取り入れるため、公募で委員を募集し審議会・懇話会等に登用して行きたい。ぜひ市民の皆さまも積極的にまちづくりに参画して欲しい。





福島県相馬市の避難所にて

## 災害時の要援護者の避難支援計画について

### 災害発生時の避難所の問題点

**榎崎議員** 今決まっている避難所では問題はないか。上松山や柳迫は避難所が遠すぎる。宇城市に避難所を。

**中村市民環境部長** 現在の避難所については、各災害発生時により選定している。上松山と柳迫が、現在の避難場所では遠すぎるということだが、現在のところ「地域防災計画」では見直しは行っていない。柳迫地区については、隣が宇城市になるが、避難所としては、地区からの避難経路や距離の問題もあるので、県の防災計画見直し内で広域連携や広域避難等も反映させることになる場合は、地域の実情を踏まえ検討していく。



(無所属)

榎崎政治 議員

### 災害時による要援護者避難支援計画について

**榎崎議員** 災害時要援護者の取組みについて。

**中田健康福祉部長** 災害時要援護者の登録は、広報紙による呼びかけと民生委員の声掛け等により、現在1,197名が登録されている。昨年から警察、消防及び消防団等の防災関係機関へ災害時要援護者名簿を提供し災害時に備えている。また、今年度からは自主防災組織や自主防災組織がないところは行政区へも情報を提供し、災害時要援護者の避難支援体制の整備を図る。

**榎崎議員** 避難所の要援護者に対するボランティアの受入れ体制と協力はどのように得るのか。

**中田健康福祉部長** 市社会福祉協議会が中心となって、受入れ

窓口を設置すると定めている。また、ボランティアの受入れをスムーズに進め、有効な協力を得るためには、受入れ窓口と市の連携を密にし、必要とするボランティア情報の提供を随時行っていくこととしている。

### 特定外来種オオキンケイギクについて

**榎崎議員** 宇土市の対応について。

**中村市民環境部長** 平成21年6月には、ポスター及びチラシを公共施設等に掲示、平成22年4月には市内の全嘱託員にチラシを配布し、市民に対する啓発を行ってきた。本年度は5月末に、市民からの連絡を受け、市内を巡回し、オオキンケイギクの駆除を行った。また、6月10日には嘱託員総会において説明を行い、6月15日号の広報紙に織り込んで、市内全住民へチラシを回覧し、駆除して頂くように啓発を行っている。在来生物系への影響が危惧されているので、職員での駆除はもろんのこと、市民への周知徹底を図り、撲滅に向けた取組みを行いたい。



宇土市役所庁舎

## ご存知ですか 市庁舎の耐震を



(無所属)

村田宣雄 議員

### 市庁舎の耐震調査 (IS値) 結果

**村田議員** 県内各地域には数多くの活断層があり、最も大きい活断層は布田川・日奈久活断層で、地震学界の地震予測は、30年以内にマグニチュード7・6、震度6以上の大地震の発生の可能性が高いと言われている。市庁舎の耐震調査結果は。

**益田総務企画部長** IS値は値が大きいくほど耐震性が高くなり、IS値が0・6以上ある建物は震度6強程度の大地震に対しては建物も倒壊する危険性が低く、逆にIS値が0・6未満の建物の場合は大きな被害を受ける可能性が高くなる。市庁舎の場合、1階から5階まで全ての階でIS値は0・6以下となっている。**村田議員** 耐震診断の結果、新しく建て替えている宇土小学校・網津小学校とのIS値の比較は。

**益田総務企画部長** 宇土小学校

は高学年棟0・24、低学年棟0・60、特別教室棟0・43、給食棟0・11等。網津小学校は高学年棟0・50、その他の棟は0・75である。市庁舎は1階から5階まで全て0・6以下で、数値が高い箇所が0・35、低い箇所が0・18である。

### 市庁舎の建設計画について

**村田議員** 耐震診断が必要な公共施設の診断結果からみても、市庁舎は最も悪い数値(IS)である。大地震が発生した場合、市民や職員の命は守れるのか。緊急災害時の対策本部の機能は保てるのか。防災行政無線システムや各種システムにも大変な支障を来す恐れがある。市庁舎建設についてどう考えているのか。

**益田総務企画部長** 職員からなる庁舎建設研究プロジェクトを

立ち上げて、多面的な研究を重ねながらその研究・検討結果を踏まえ、具体的な計画づくりに着手している。ただし、庁舎建設には多額の資金が必要であり計画的な庁舎建設基金の積み立てをする。

### 宇土市の食料・農村・農村基本計画策定について

**村田議員** 国の食料・農業・農村基本法が制定され、早11年過ぎようとしているが、残念ながら宇土市では、基本計画が未だ策定されていない。2010年度の農林業センサスを活用し宇土市農業・農村の基本構造とその変化をとらえ、特色ある基本計画を策定すべきと思うが、市長の見解は。

**元松市長** 宇土市の農業・農村の課題を抽出し、それらの方向性や目標を明示し、これらを達成するため、具体的な施策を柱とした独自の基本計画を策定したい。(浜戸川・緑川河川の重要水防箇所の高潮・越水対策についても質問し要望した)



市防災センター

## 大津波・原発事故に対応した防災対策を

### 下水道特別会計の健全化のために



(日本共産党)  
福田慧一 議員

**福田議員** 下水道会計の借入金の利息は安いので0・9%、高いのは6・2%となっている。

3・0%以上の高い利息のものが8億4、700万円あり、これを計画的に安い利息へ借換え、利子負担の軽減をはかるべきである。また、未接続世帯への加入促進と工事契約について入札の改善をはかり、財政健全化によりいっそう努力すべきである。

**新樹建設部長** 借換えについては、22年度で2件実施した。23年度においても2件の借換えを予定している。以後においても許可が取れたものについて繰上償還を行っていく。未接続世帯については、今後とも皆様への協力をお願いして、加入促進を

進めていく。又、工事の発注及び契約については、各社の実績や経費の比較等を行い、より効率的な発注方法を検討していきたいと考えている。

### 安心・安全な防災対策について

**福田議員** これまでの市の防災計画は、大規模な津波や原発事故による避難計画などは示されていない。東日本大震災の教訓を受け、防災計画を見直し対策をより強めること。

小・中学校の防災教育に力を入れ、町内会の防犯組織の促進をはかる必要がある。  
個人住宅の耐震化が遅れており、これを促進するためには耐震診断、耐震補強について財政支援を行い、安心・安全な防災対策を進めるべきではないか。

**中村市民環境部長** 大規模な津波や原発事故による避難計画について、国・県の動向を踏まえ今後の計画見直しに反映したい。津波警報発令時での対応策として、避難経路を新たに追加し、高台に避難できるように避難所に標高を記載したい。

また、消防署や警察等関係機関が災害発生直後、多数の被害者に対し迅速に対応することは困難であり、住民が自発的に結成する自主防災組織率100%を目指すために「広報うと」や各地区の集會等で啓発や育成に努めたい。

**山本教育部長** これまでの防災教育の再確認や見直し等を行い、児童生徒の安全確保を図ってきたい。

**新樹建設部長** 耐震診断については、24年度からの補助制度の取組みについて検討する。また、耐震補強については、課題があるので、今後とも検討していく。



## 総務市民

総務企画部・市民環境部・その他を所管



野添正利委員長

論議された主なものを報告いたします。

まず、パスポート交付事務委託経費に伴う県からの補助と交付期間についての質疑に対し、執行部から、パスポート申請事務に伴う経費については、平成23年度は準備期間になるので、今年度の事務に伴う経費は来年度に補助を受けられる予定である。申請から交付までの期間については、従来どおり2週間ほどで交付できる予定である。また、県庁での交付申請は特別な事情がある方に限られるとの答弁がありました。

るが、繰越した予算で整備できるのは、その約半分である。との答弁がありました。また、委員から、予算があるのなら、早く対応するようとの指摘がありました。

次に、公有財産の処分について、今回、売払いを予定している土地の価格が坪単価約5万7千円とのことであるが、近隣の土地に比べ安いのではないかと質疑に対し、執行部から、今回の予定価格算定においては、不動産鑑定士に評価を依頼している。近隣の土地に対し評価が低くなった理由としては、まず、土地の広さが5、129㎡と広く、開発業者が限定されること。また、公道に接していないことや当該土地の真ん中に水路があることなどが、評価を下げた要因であるとの答弁がありました。

以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案については、議案第35号は賛成多数で承認、その他の議案については全会一致で原案のとおり承認及び可決致しました。

## 経済建設

経済部・建築部・農業委員会を所管



山村保夫委員長

論議された主なものを報告いたします。

まず、委員から、新規事業である「農地・水保全管理支払向上活動支援事業」が、従来の「農地・水・農村環境保全向上活動支援事業」から変わった点は何かとの質疑に対し、ハード面の工事ができるようになったというのが一番の違いです。入札も行えるようになりましたので、大きな工事も地元の要望どおりできる事業となっております。との答弁が執行部からありました。

次に、委員から、戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業の対象地域と面積、事業内容について質疑があり、執行部から、対象地域は花園・走潟・轟・緑川の各地区の一部で、対象面積は23・7ヘクタール、事業

内容としましては、水田の暗渠排水事業となっております。との答弁がありました。

次に、委員から、九州新幹線総合車両基地から排出される汚水処理に係る料金について質疑があり、執行部から、総合車両基地の計画汚水量が、1日平均240トンとなっております。それを受けて、総合車両基地からの汚水排出量が240トン未満だった場合でも、240トン分の料金は支払っていただくようになっています。との答弁がありました。

以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致ですべて原案のとおり承認及び可決致しました。

次に、陳情につきまして報告いたします。平成23年陳情第1号 緊急の地域経済対策、住宅リフォーム助成等の制度創設に関する陳情書については、地域へ景気対策としての効果が期待できるとして、全会一致で採択と致しました。

## 文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



芥川幸子委員長

論議された主なものを報告いたします。

まず、歴史的資料保存活用に関し、今後、教育委員会はどのように考え、工夫をしていくのか。との質疑に対し、歴史的また文化的価値を有するものに対し、市民が気楽に利用できる環境を整備していく必要があると考えており、今回設置を予定している歴史的資料保存活用事業運営委員会が保存と活用について、検討をしていただきたいと考えているとの答弁がありました。また、委員から宇土の歴史を市民に広めるため、宇土検定100問などを作成し、宇土を訪れた方にも、簡単に説明できるように市民に浸透させてはどうかとの意見がありました。これに対し、執行部から、まず市民に一番なじみのある「広報うと」を活用して宇土の歴史を認識してもらい、その後に検定等をおこなっていききたいとの答弁がありました。

次に、委員から母子寡婦福祉費について、職業訓練を受けたあと、どのような職に就業しているのか。また、追跡調査は行っているのかとの質疑に対し、執行部から、修業事実の確認のみを行っているとの答弁がありました。委員から修業後の経緯。また、この職業訓練を受けた成果が企業側にとどのように反映されているのかなどの情報収集に努めるべきとの

意見がありました。

最後になりますが、乳幼児・子ども医療費助成受給者証の不備について執行部から、事の経緯及び対応策についての説明がありましたので、ご報告いたします。事件の概略につきましては、電算システムで発券した「乳幼児医療費受給者証及び子ども医療費受給者証」の受給者番号が、本来、新受給者証では7桁であるべきところを、誤って10桁で印刷し、約3,000の子育て世帯に送付したものであります。

事件発生後の対応として、「お詫びとお願い」という文書を作成し全受給者と市内医療機関をして近隣の主要な医療機関に速達郵便で連絡を行い、医療機関受診の際は、正しい受給者番号を市に問合せもらうようにしたとのことでありました。これを受けて、各世帯や医療機関から約1,000件の問合せがあったとの報告がありました。今回の件に関しては、複数の職員で変更箇所等の確認作業をおこなえば、防げた案件であり、また、昨年のインフルエンザ無料クーポン券の誤発送など、確認作業の不足によるミスが続いているため、委員からは「緊張感が足りないのではないか」「期間が短い程、気をつけるべきである。また、「対応策は有効に機能するか。」などの厳しい意見が相次ぎました。これに対し執行部からは、「このような事が二度と発生しないようにいたします。」との答弁がありました。以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案については全会一致で原案のとおり全て承認及び可決いたしました。

## 地域高規格道路促進等対策特別委員会



浜口多美雄委員長

6月20日、執行部出席のもと本委員会を開催し、現在までの取り組み状況について、執行部から説明がありましたので、ご報告いたします。

まず、「熊本・宇土道路」の用地取得の状況について、宇土市は、面積ベースで100㎡増、地権者ベースでは1人増、熊本市では、面積ベースで500㎡増、地権者ベースでは2人増となっている。工事の状況については、現在、前年度予算での繰り越し工事が行われており、その内容は、宇土市側で地盤改良工事が2件、地盤改良と併せて函渠の工事が1件、熊本市側で2件の地盤改良工事となっている。また、(仮称)緑川大橋については、熊本市側下部工事が行われている。

平成23年度の当初予算は、前年度当初より2億円増額の13億円で、新たに宇土市側で5件、熊本市側で2件の地盤改良工事が計画されている。

次に、「宇土道路」についてですが、前回から変わらず城塚から網田地区の環境調査が行われている。平成23年度の当初予算については7,000万円、前年度当初より2,500万円増額となっており、引き続き環境調査が行われる予定である。

なお、東日本大震災の影響として、当面、当初予算の5%を留保することとなっている。また、前回の委員会で、調査の要望がありました

「熊本・宇土道路」の用地取得が進まない理由について、「補償価格に不満、代替地に問題、登記処理上の問題、計画に反対」が主な理由である。という報告がありました。

以上の報告を踏まえ、委員会で論議されました。主な内容をご報告いたします。

まず、委員より、「熊本・宇土道路」の用地取得について、計画に反対という理由は、今までの委員会の報告の中ではなかったが、何名くらいいらっしゃるのかという質疑に対し、何名いらっしゃるか、またそれが宇土市側なのか熊本市側なのかも国土交通省から情報提供を受けていない。との説明が執行部からありました。これに対し、委員から、計画に反対というのは、根本的な問題であるから再度詳しく調査するように要望がありました。

次に委員から、国土交通省の公表資料では、宇土道路は平成28年度以降供用予定とされているが、現在の状況では何年かかるかわからない。国土交通省として、どのような認識を持っているのかを確認するように要望がありました。

最後に、今後の取り組みとして、東日本大震災の発生により見合わせておりましたが、国土交通省本省、地元選出の国会議員に対しての要望活動をできるだけ早いうちに行うことを、全会一致で決定いたしました。

当委員会としては、昨年度を上回る予算を確保できたということは、官民一体となった要望活動の成果であります。今後、東日本大震災の影響が出てくることも予想されるため、国の動向を注視しながら、1日も早い熊本・天草幹線道路の全線開通をめざして、頑張っていきたいと思います。

## 平成23年第2回宇土市議会定例会議決結果一覧

### 【市長提出議案】

番号	件名	提案月日	議決月日	議決の結果
第33号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第10号 宇土市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	6月17日	7月4日	原案承認
第34号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第11号 宇土市税特別措置条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃
第35号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第12号 宇土市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃
第36号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第13号 平成22年度宇土市一般会計補正予算（第7号）について	〃	〃	〃
第37号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第16号 宇土市税条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃
第38号	附属機関の見直しに伴う関係条例の整備等に関する条例について	〃	〃	原案可決
第39号	宇土市健康づくり推進協議会設置条例について	〃	〃	〃
第40号	宇土市下水道条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃
第41号	宇土市歴史的資料保存活用事業運営委員会設置条例について	〃	〃	〃
第42号	藩窯網田焼復元検討委員会設置条例を廃止する条例について	〃	〃	〃
第43号	宇土市固定資産評価員の選任について	〃	〃	原案同意
第44号	公有財産の処分について	〃	〃	原案可決
第45号	宇土市道路線の認定について	〃	〃	〃
第46号	宇土市及び富合町の公共下水道に係る汚水の排除及び処理に関する事務の委託に関する規約の廃止について	〃	〃	〃
第47号	宇土市の公共下水道施設を富合町の住民の利用に供させることに関する協定の全部変更について	〃	〃	〃
第48号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について	〃	〃	〃
第49号	平成23年度宇土市一般会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃
第50号	平成23年度宇土市水道事業会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃
第51号	宇土市公平委員会委員の選任について	6月23日	6月23日	原案同意
第52号	宇土市公平委員会委員の選任について	〃	〃	〃
第53号	宇土市公平委員会委員の選任について	〃	〃	〃

### 【議員提出議案】

番号	件名	提案月日	議決月日	議決の結果
発議 第1号	公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書	7月4日	7月4日	原案可決

### 【報告】

報告番号	件名	報告月日
第12号	平成22年度宇土市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	6月17日
第13号	平成22年度宇土市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	〃
第14号	平成22年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	〃
第15号	平成22年度宇土市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	〃
第16号	平成22年度宇土市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	〃
第17号	宇土市土地開発公社の経営状況の報告について	〃
第18号	専決処分の報告について 専決第9号 訴えの提起について	〃
第19号	専決処分の報告について 専決第14号 訴えの提起について	〃
第20号	専決処分の報告について 専決第13-2号 損害賠償額の決定について	〃
第21号	専決処分の報告について 専決第15号 損害賠償額の決定について	〃
第22号	専決処分の報告について 専決第17号 損害賠償額の決定について	〃

### 【請願・陳情】

	受理番号	陳情の件名	付託委員会	議決結果
陳情	平成23年 1	緊急の地域経済対策、住宅リフォーム助成等の制度創設に関する陳情書	経済建設	採択



## 「うと教育の日」 記念事業

### 宇土市子ども議会が 開催されました。

8月5日（金）、宇土市教育委員会主催の「宇土市子ども議会」が開催されました。

市内小・中学校代表の子ども議員は、身近な問題から地域の諸問題や将来のまちづくりについて、子どもの自由な発想や視点で捉えた質問や意見を発表し、市長をはじめ市執行部が丁寧に答弁をしていました。

子どもたちにとっては、地域の問題・課題に目を向け、自らの考えを主体的に発表する貴重な体験の場として、また市にとっては、子どもたちからの意見、提案や要望などを聞くことが出来る重要な場となっています。

### 熊本県城南七市 市議会議長会開催

熊本県城南七市市議会議長会が7月28日に宇土市で開催されました。

これは、熊本県南部7市の議長が一堂に会し、県南地域の問題や課題について話し合い、共通認識と理解を持つために行われています。

会議では、活発な意見交換が行われ、県南地域への企業誘致の推進について県へ要望書を提出することを全会一致で決定しました。



## 議会を傍聴しませんか

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、ぜひ一度傍聴してみませんか。

- ◇ 議会傍聴席は市役所議会棟2階の議場内にあります。傍聴席入口で必要事項をご記入のうえ、席へお着きください。また、委員会傍聴については議会事務局にて受付をお願いします。
- ◇ 本会議の傍聴席の定員は50人です。
- ◇ 委員会傍聴については、委員会室の広さ・内容等により人員を制限する場合がありますのでご了承ください。
- ◇ 原則として、本会議、委員会は午前10時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
- ◇ 本会議傍聴の際は、傍聴席入口に掲示の注意事項をお守りください。

## 市議会からのお知らせ

市のホームページで、本会議（定例会・臨時会）の会議録を公開しています。

【アドレス】<http://www.city.uto.kumamoto.jp/>

本会議の会議録（冊子）は、市情報公開コーナー（市役所1階ロビー）、市立図書館で閲覧できます。

なお、平成23年第2回定例会の会議録は、平成23年第3回定例会以降に閲覧可能です。

### ◎生中継（ライブ放送）

議会開会中、本会議（定例会・臨時会）の様態を生中継で市役所1階ロビー・網津支所・網田支所に設置されているテレビモニターでご覧になれます。

【お問い合わせ】市議会事務局 0964-22-1111 内線2611

## 編集後記

鬱陶しい梅雨が明け、いよいよ猛暑の時期になりました。何処にいても蝉時雨、これで暑さ倍増、その中で議会だよりの発行にこぎつけました。今回の紙面も市民の皆様に見やすく、分かりやすくを心がけました。

皆様の生活にも身近な情報です。熟読をお願いします。

編集委員

委員長／杉本信一 副委員長／芥川幸子  
委員／野添正利 山村保夫

## 平成23年第3回定例会会期日程

9月7日	開会
8日	特別委員会
9、12、13日	質疑・一般質問
14日	文教厚生委員会
15日	総務市民委員会
16日	経済建設委員会
22日	閉会